

第二回ひろく若齢預託育成事業実行委員会

十二月二十六日 広酪本所会議室

委員・若熊牧場視察
具体的検討に向け

方向性を確認



岩竹重城組合長は、第二回ひろく若齢預託育成事業実行委員会を開催し、十一月二十八日から二日間亘って先進地視察を行った全酪連若齢預託熊本牧場並びにJA菊池キャトルブリーダーイングステーションでの視察内容を踏まえ、①熊本視察に係る各委員からの

意見、②若齢預託施設の候補地、③若齢預託育成事業の運営方針を協議した。これら協議結果から、今後の若齢預託施設の整備など、委員に對する事業取組みの妥当性を確認したところ、検討を深めていくことで意見を纏めた。その他、①平成二十九年産計画生産の進捗状況、②北海道乳牛市場価格の状況、③国による「牛白血病」の名称を「EBL」としての使用等報告した。次回開催は三月を予定。

全酪連大阪支所管内酪農生産研究会

役員会・秋期研修会

豪州海外視察三名から報告

全酪連大阪支所管内酪農生産研究会は、第六十六回役員会並びに冬季研修会を開催した。役員会では、平成二十九年産上期事業報告を行い、平成二十九年産冬期国内視察研修会は二月から三月、九州でのコントラクター等の視察計画を審議した。

研修会は、十一月十四日から二十三日の十日間に亘り行われた「平成二十九年産豪州海外視察研修会」の報告会が行われた。全国から十四名が参加され、全酪連大阪支所管内では守安浩氏（おかやま県酪）、川本正志氏（大山乳業農協）、田村浩靖氏（全酪連大阪支所）の三名が参加された。



（左から研修報告する川本氏、守安氏、田村氏）

報告会では、①ナモイコットン社（綿実の製造販売会社）、②シーニッククリームロボティクスデベロップメント社（綿実の製造販売）、③リー牧場（経産牛四百頭、育成牛二百五十頭）、④GILMAC社（オーツヘイ製造販売・販売オーツヘイベールング）、⑤ハイオーストラリア社（オーツヘイ製造販売（販売オーツヘイベールング）、⑥フリーマントハ港

十二月十三日 岡山シティホテル

湾にて積み込み船（コンテナ）の視察を通じての概要が報告された。

三名の報告者は、日本とはスケールの違いを間近で体感することができ、視察で得た情報を踏まえて、今後の業務に活かしていきたいと抱負が述べられた。

全酪連では、会員職員を対象とする海外視察研修を毎年行っている。

畜安法改正に伴う生乳取引説明会

十二月二十一日 広酪本所会議室

畜安法改正・H三十年産から
公共機関等「買取から委託販売へ」



広酪は、畜安法改正に伴い、県内公共機関等を参集し、平成三十年産以降の生乳受託販売事業に係る取組方針、並びに公共機関等の買取方式から生乳委託販売方式への変更内容を説明し、平成三十年産生乳取引契約の締結を求めた。参集したのは、広島大学、広島県畜産技術センター、西条農業高等学校、庄原実業高等学校、広島市。